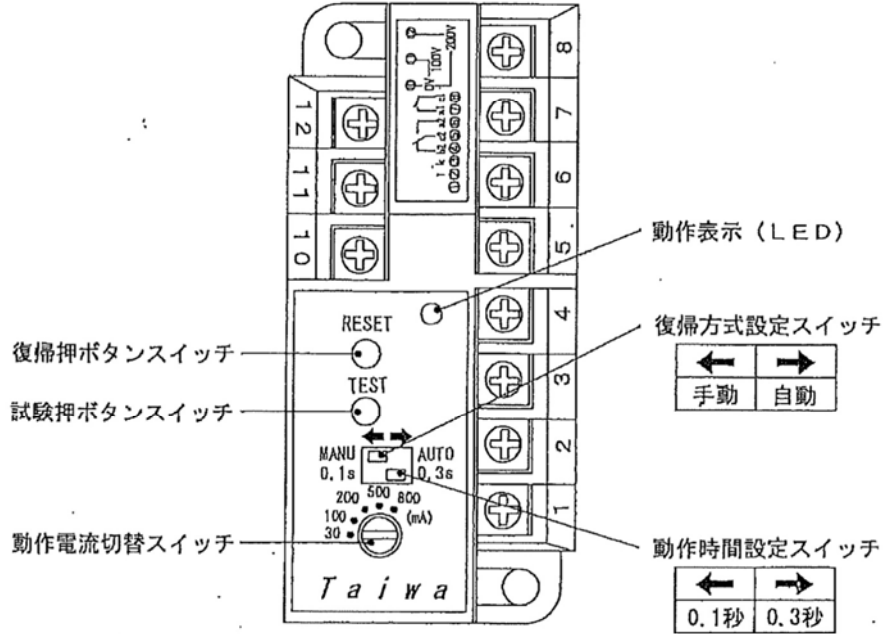


漏電継電器

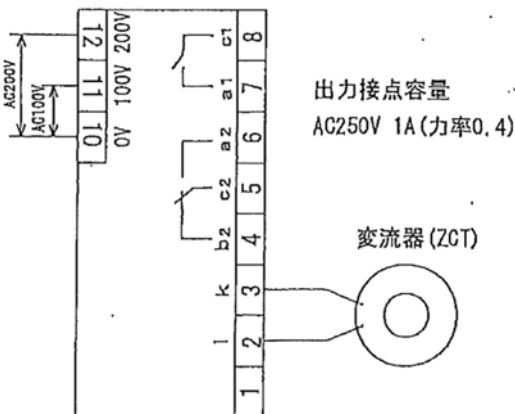
LL-30M 形
取扱説明書



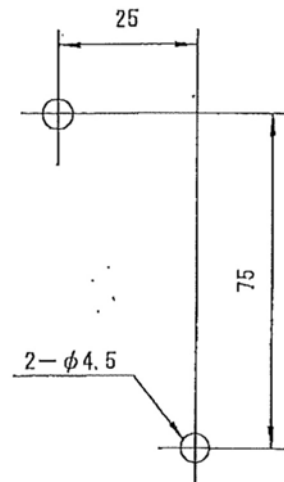
注意事項

1. 復帰方式の設定は中央部の上側のディップスイッチを小さいドライバーなどで矢印方向に動かして設定してください。手動復帰設定の時の動作は、復帰押しボタンを押して復帰させてください。
2. 動作時間の設定は中央部の下側のディップスイッチを小さいドライバーなどで矢印方向に動かして設定してください。(0.1秒と0.3秒の切替)
3. 漏電継電器のZCTが大電流導体に接近していると、誤動作や感度電流が変動することがあります。大電流導体をZCTから10cm以上離してください。
4. 負荷機器や配電線の大地に対する静電容量が大きいときは、常時でも相当大きい動作電流が流れ、漏電継電器が動作することがあります。一般には多数の分岐回路をまとめて、1台の漏電継電器で保護を行わせる場合に発生します。このような場合には、動作電流や動作時間の変更をしなければなりません、分岐回路ごとに漏電継電器を設置すれば、このような問題は少なくなります。
5. ZCTと漏電継電器間の配線は、他の操作電圧線から静電誘導を受けるので、30mA感度において3m以内にしてください。

外部接続図



取付寸法



漏電継電器試験成績書

形式	LL-30M形	試験日	年 月 日
製造番号		周囲温度	°C
定格	AC100V/110V, AC200V/220V 50/60Hz	承認者	試験者
整定範囲	動作電流値 30-100-200-500-800(mA) 動作時間 100-300(ms)		

試験項目	管理値	結果
1. 外観・構造検査	外観・構造に異常がないこと	⊙良
2. 動作電流値	零相変流器(ZCT)の一次側に電流を徐々に流して動作する値を測定する。 動作値: 整定値の50%を越え100%以下の範囲	⊙良
3. 不動作電流値	零相変流器(ZCT)の一次側に整定値の50%の電流を流して動作しないこと	⊙良
4. 動作時間	零相変流器(ZCT)の一次側に整定値に等しい電流を急激に流して動作する時間を測定する。 動作時間: 整定値の時間以内	⊙良
5. 絶縁抵抗試験	充電部一括とケース間: DC500Vにて10MΩ以上 (ただしk、lを除く)	⊙良
6. 耐電圧	充電部一括とケース間: AC1500V 1分間 (ただしk、lを除く)	⊙良
7. 備考		

